す。栃木県の国で持っている君島堰の操作にも、私も水がないときにはお願いしに行っておりますけれども、なかなか私どもの改良区までは流れてきません。一番上で入るのは小栗の土地改良区です。あの小栗の土地改良区へほとんど入ってしまいます。

そういうわけで、あの旭ヶ丘の遊水地を、遊水地の中の土地を国で管理すれば済むので、下館河川事務所といいますか、大いにいろいろな試案といいますか、方策ができるんじゃないかと思うんですね。すなわち、踊りが踊れる5月の水がないときには、それなりに水をためて、5月には下流へ流すというような、貯水だけではなく、ため池化、そういうのも必要ではないかなと私は思っています。

そして、この暴れ川の小貝川を守るのには、やはりあと4ないし5くらいの遊水地兼ため池等をつくったらいいんじゃないかというのが私の意見でございます。

三つ目に、小貝川の河床を下げると。

私はいつも堤防の上を通りますけれども、いつも気になっているのは、筑西大橋の下、300m ぐらいのところかな、あそこから急に川がどんと流れが落ちます。あその河床を下げれば、すなわち下館、蔵地内の内水の対策がかなりできるんじゃないかなと私は思っております。

また、筑西市西石田の東にかかる何橋だったか、新大橋とは書いてありますが、何とか新大橋というんでしょうが、あの下、やはり200~300mの河床を下げれば、かなりの流れがよくなると、こう私は感じております。

それと、4番目には、河川敷内の樹木、竹林の伐採。

これは私が小さいときは腕ぐらいの木が、今はこんな大木になっております。そして、小貝大橋から下妻市柳原までは、あの小貝川は直角に曲がっております。そういう関係上、竹林、それから篠ですね、篠竹、竹林ですが、それを伐採して、大木も伐採して、それなりの流れをよくするべきだと。

私は、先ほども旭ヶ丘の遊水地の中を国で買い上げたのがいいんですよと言いましたけれども、小貝川も、川の岸まで個人持ちの土地があるんですよ。そういう関係上、河川ではなかなかできないんだと思うんですが、河川敷内の土地は、それなりに国で全部買い上げるべきだと。そして、国自身が大いにいろいろな政策や方策をできるのではないかと、こう思っております。

次に、5番目は、個人所有を買い上げる。

先ほど言いましたように、河川敷内の個人の土地は、国のほうで全部買い上げていただきたい。そうすれば、それなりに国のほうではいろいろな施策や方策ができるんじゃないかと、こう思います。

それに、やはり小貝川は勾配が遅いですね。1000分の1とかというぐらいな勾配で、非常になだらかです。そういうために、この小貝川の蛇行しているところの出っ張り、それを取っていただきたい。そして、川の流れをよくしていただきたい。

次に、7番目は、河川保護のために。

中洲ができますね、川の流れの関係上。特に筑西市徳持の下の固定の堰の下の中洲、あれはどんどん大きくなっております。そして、堤防のほうへとうねりが向かっております。そういう関係上、それから水戸線の下の中洲部分、あれも中洲といいますか、もう左岸のほうへ、右岸は埋まってしまいました。左岸のほうへどんどん流れております。そういう堆積物を取っていただきたい。

次に、八つ目に申したのは、やはり個人所有の土地があったら、なかなか芝焼きはできないんですが、国でそれなりの河川の中の土地を持てば、大いに芝焼きでも何でもやって、農家の皆さんの病虫害の防除にも非常になるのではなかろうかと。個人持ちにありますと、なかなか火がついてしまうと、個人の

皆さんから大変嫌がられますので、河川敷内は国で買って、国で大いに踊りが踊れるような、いろいろな政策をできるようにしていただきたいというような、八つの項目を私は河川のほうにお願いするのです。

どうか今後ともよろしく願いいたしまして、私からはこれで終わりいたします。ありがとうございました。